

桜の聖母学院中学校・高等学校 H29(2017/5)年間指導計画

履修年次	科・コース	教科名	科目名	単位数	履修形態
高校1年	英語科・普通科	音楽	音楽 I	2	必修

教科書	高校音楽 I Music View (教育出版)
その他の教材	ミュージックノート (教育出版)、しらべにのせて、授業者作成プリント

目標	<ul style="list-style-type: none"> 生涯に渡り自ら音楽を求め、芸術を愛好する心情を育てる為に、基礎的・基本的な音楽技術や知識を身につける。
学習のねらい	<p>【音楽理論】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な音楽理論（音符や休符、簡単な音程、コード）について学び、特にリズムについて重点的に学ぶ中で、歌唱や器楽、創作活動などと結び付けながら、基礎的・基本的な音楽の知識を身につける。 <p>【歌唱】</p> <ul style="list-style-type: none"> 聖歌や様々な国（言語）の歌唱を学ぶ中で、その曲の美しさやダイナミクスを生む表現について理解・体験し、表現の幅を広げながら自分自身の音楽技術を高める。 <p>【器楽】</p> <ul style="list-style-type: none"> 和楽器（箏）に触れ、様々な演奏技術を体験、鑑賞する中で箏の理解を深める。また、邦楽の可能性と魅力を実感し、興味や関心を深める。 ギターに触れ、様々な演奏技術を体験する中で、興味や関心を深める。 楽器の組み合わせや特徴を生かした表現を探りながらメンバーと協力し、アンサンブルをし、楽しむ。 <p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> 西洋音楽史について、各時代の音楽に触れながら時代の特徴や進化の変遷を学ぶ中で、多面的に各時代の音楽の特徴を理解する。また、曲にまつわる作曲家の想いや音楽家の生活、当時の社会状況等を知り、改めて音楽への関心や興味を深める。 聴き方・味わい方を学び、自分なりの音楽解釈を文章化することを通して、鑑賞の楽しみ方を発見・確立する。 <p>【創作】</p> <ul style="list-style-type: none"> コードを使って簡単な創作活動をし、自分の音楽を作る体験を通して、音楽を構成する要素を知る。また、作曲家の想いやその時の状況、生き立ちや性格など、音楽には様々な意味が込められているということを実感する。
定期考査	実技試験（随時）、期末考査のみ実施（年3回）
評価の観点 および 評価の方法	学期評価：期末試験4割程度、実技試験4割程度、平常点2割程度 学年評価：学期評価を総計して平均したもの 平常点：授業態度（全学期）、提出課題等（随時）、豆テスト（随時）、各種活動の積極性（随時）
履修上の注意	積極的に授業に参加すること。

桜の聖母学院中学校・高等学校 H29(2017/5)年間指導計画

期	月	学習項目・学習内容	テストと評価
1 学 期	4 月	【歌唱】 斉唱（校歌、聖歌各種） ◆音楽理論 1：音符と休符、ドイツ音名 ◆音楽理論 2：基本的なリズム	
	5 月	【器楽】 ギター ・各部の名称とチューニングについて ・音階練習（聖者の行進） ◆音楽理論 3：音程（度数のみ）	実技テスト①（リズム打ち）
	6 月	・コード奏：(Em、Am、E、A、G、C、F) ・ギターアンサンブル ↓	豆テスト①（音程：度数のみ、ドイツ音名） 豆テスト②（音程：度数のみ）
	7 月	【創作】 コードを使用した創作 【歌唱】 合唱「ハレルヤ」	実技テスト② （ギター：音階、コード奏） 【1学期期末考査】 提出：創作作品
夏季休業		お気に入りの1曲についての紹介文レポート課題	
2 学 期	9 月	【器楽】 箏 ・各部の名称と調弦 ・様々な奏法 ・演奏「六段の調べ（初段）」 【鑑賞】「春の海」	実技テスト③（お箏）
	10 月	【歌唱】 合唱 ・キャロルコンクールへ向けて	豆テスト③（箏の名称、奏法）
	11 月	・課題曲（聖歌） ・自由曲	【2学期期末考査】
	12 月	↓	
冬季休業		お箏のBGMが流れていた場所、タイミングのリサーチレポート課題	
3 学 期	1 ・ 2 月	【鑑賞・歌唱】 クラシック音楽における西洋音楽史 ・古代、中世～近代、現代まで	提出：ミュージックノート随時
	3 月	【鑑賞】 オペラ「蝶々夫人」 【随時紹介】 バレエ・ミュージカル ◆音楽理論 4：音程	【学年末考査】 西洋音楽史
	春季休業		なし